

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、田中、桐原、福竹、千賀、山本
2. 山域/ルート 西穂山荘～焼岳 (アルプス縦断第一弾)
3. 交通手段 車、バス、ロープウェイ

4. 行動記録

<入山日 2014 年 4 月 26 日。 下山日 年 4 月 27 日>

第 1 日 4/25 (金)

21:30 神戸発⇒26:00 アカダナ駐車場

第 2 日 4/26 (土)

9:15 新穂高ロープウェイ西穂高ロー10:25 西穂高山荘 10:48-11:25 ピーク 2242m-12:40 ピーク 2194m-13:20 割立山 13:33-14:05 ピーク 2229m-16:00 焼岳小屋付近幕営

第 3 日

7:43 テント場-7:52 焼岳展望台 8:05-8:10 中尾峠-10:00 北峰直下 10:13-10:20 焼岳北峰 10:38-10:43 直下 10:56-11:45 新中の湯ルート分岐 (下堀沢出合) -12:00 ピーク 1961m 付近 12:20-13:00 標高 1600m 付近-14:30 国道 158 釜トンネル付近

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ① 乗鞍岳までの縦走予定であったが安房峠付近は雪が少ないと判断して焼岳で打ち切った。
- ② 計画に無理があった。見積不良。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

- ① 焼岳からの下降に中の湯コースを選択したがトレースも無く 1600m 付近から雪も無く夏ルートが不明瞭であり熊笹の藪こぎになった。急斜面の下降でスリップ転倒した。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

① 中の湯コースはエスケープに予定していたが事前の調査が足りなかった。地形図も夏ルートが記載されている地図を持参してしまった。最新の地形図を確認しておくことが大切である。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ① 西穂⇔焼岳の看板を 2 カ所で見つけたが、それ以降は看板を見つけることは無かった。
- ② 割立山はやせた雪稜になっており上高地側が切れ落ち雪庇がある。
- ③ 焼岳北峰岩峰の下の急な雪面を左にトラバースして稜線に出る。滑落すると致命的である
- ④ このコースは雪の状態で成否が決まる。今回は忍耐力が試された山行であった。

報告者氏名 南山 房啓 2014 年 4 月 30 日